

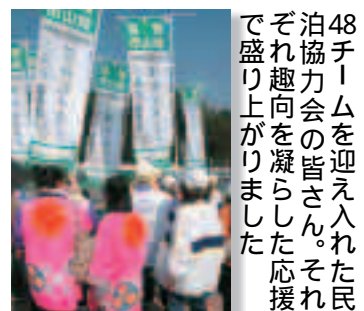
彩の国まごころ国体 秋季大会

市民と選手たちが一体となって盛り上げた大会！



26日、清子内親王殿下がお成りになりました

選手のお土産に、市民の手作りお土産を用意



48チームを迎え入れた民泊協会の皆さん。それぞれ趣向を凝らした応援で盛り上がりました



18日の大会旗・炬火リレーは、72名のランナーが走りました



777名が参加した開始式



5校合同の中学生プラスバンド



市民ボランティアがまごころをこめて選手にサービス



成年優勝チーム・男子京都、女子広島



インディアカ・水富チーム グラウンドゴルフ・Fチーム

国体のデモンストレーション競技として行われたインディアカ(富士見市)で、水富チーム(代表:加藤まゆみ氏ほか4名)がシニア女子の部で第1位、グラウンドゴルフ(吉見町)で、Fチーム(代表:片平敬四郎氏ほか5名)が第6位にそれぞれ入賞しました。おめでとうございます。



10月24日(日)～27日(水)、彩の国まごころ国体・ソフトテニス競技会が開催され、智光山公園テニスコートで連日熱戦が繰り広げられました。大会では、自治会が中心となった民泊をはじめ、夏季大会同様多くの市民ボランティアが運営に参加して選手たちを温かく迎えました。また、大会に先がけて行われた大会旗・炬火リレーにも、多くの市民がランナーや沿道での応援者として参加し、大会を盛り上げてくれました。まさに市民が一体となった、まごころ国体という名にふさわしい大会となりました。

市長随想



狭山市長 仲川 幸成
似顔絵・池原昭治氏

第59回彩の国まごころ国体は、9月に行われたボウリングとゴルフ競技、そして10月のソフトテニス競技で、そのすべてが無事終了いたしました。特にソフトテニス競技は、会場を引き受けたのが平成8年12月と記憶しています。当時、10面だったクレイコートをは16面の全天候型に改修し、夜間照明もつけました。そのコートは、プレーヤーから県下一との折り紙をつけていただきました。そこで繰り広げられた、全国から厳しい予選を勝ち抜いてきた選手の試合を観て感動を覚えました。一方この大会は、市民の皆さんの協力に支えられた大会でもあります。このことは選手、監督、

役員の方々に多くの印象を与えたことと思います。まずは選手へお土産として青空の会や老人クラブ連合会、高齢社会を考える会などの皆さんが作ったお手玉、柏原公民館で活動する匠の会の土鈴、また48チームの民泊を支えた各自治会の熱気あふれた応援と日夜の接待、市民の美化運動、さらに5校の中学生のプラスバンドや大会役員の活躍、市民ボランティアのお力添えなど、国体に捧げてくれた一人ひとりの誠意に感謝しています。さらに大会旗・炬火リレーにも多くの市民の応援がありました。児童・生徒から高齢者・障害をお持ちの方も、選ばれた72名のランナーの力走する姿にも拍手を送ります。市制施行50周年の節目の年に行われた国体は、私は忘れることはないでしょう。

市長の主な動き

10/1...森林施設計画認定証授与式 10/2...狭山シニア・コミュニティ・カレッジ体育祭、合併に関する市民フォーラム 10/3・10...地区体育祭 10/5...青少年健全育成地域の集い 10/6...自治会連合会幹事との懇談会 10/11...狭山地方地域安全・暴力排除推進大会 10/12...埼玉県市長会定期総会・研修会 10/13...合併協議会 10/15...埼玉県都市競艇組合議会定例会 10/18...国体大会旗・炬火リレー狭山市歓迎式、基地対策協議会要望活動 10/19...企業訪問 10/23...中央中学校創立20周年記念式典 10/24...国体ソフトテニス競技会開始式 10/27...国体ソフトテニス競技会総合表彰式 10/28・29...全国都市問題会議 10/31...市民フェスティバル

屋内体育施設の 利用区分などを見直します

市民総合体育館、狭山台体育館、サンパーク奥富、農村環境改善センターの4施設では、皆さんがより利用しやすくなるよう、利用区分などを見直し、平成17年4月から実施します。主な内容は、次のとおりです。詳しくは広報さやま12月10日号でお知らせします。利用時間区分開館時間を22時まで延長(サンパーク奥富は21時まで)、2時間単位に利用時間を変更 面貸し区分市民総合体育館で6分の1面利用を新設 休館日毎週1回から月2回程度に変更(サンパーク奥富は毎週月曜日) 使用料夜間の割増使用料を解消するとともに使用料を改定 問合せ市民総合体育館☎2952 0511、狭山台体育館☎2958 1201、サンパーク奥富☎2969 3809、農村環境改善センター☎2958 0595、体育課内線5712



市民総合体育館



狭山台体育館



サンパーク奥富



農村環境改善センター

消防ポンプ自動車と小型動力ポンプ付 積載車を導入、消防力を強化します

消防本部では、広域災害応援車両(緊急消防援助隊)としても活動可能な消防ポンプ自動車を水野分署に配置します。また、消防ポンプ自動車1台と小型動力ポンプ付積載車4台を、消防団車庫に配置します。これにより、災害などへの備えを一段と強化します。配備は、年度内を予定しています。



小型動力ポンプ付積載車



消防ポンプ自動車

問合せ警防課へ☎2953 7114